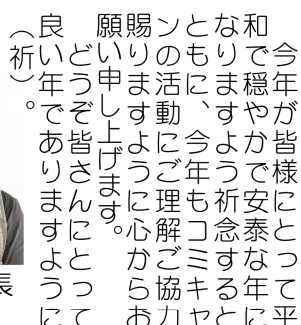
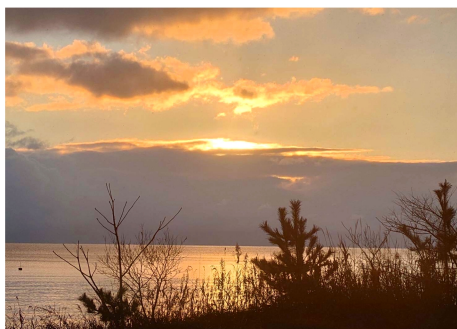


～ 恒例年越し初日の出ツアー現地にて～

▼当法人のグループホールム有志メンバー対象に、年末(12月31日)から年始(1月1日)にかけて「初日の出ツアー」を実施しました。



コミキャン新聞に掲載された情報(写真等)の著作権・肖像権は全て当該メンバーさんの保護者の方々及び社会福祉法人コミュニティキャンパスに帰属し、無断でこれを複製、利用することを固く禁じます。



▼令和8年1月14日
(水) 吹田支援学校
(小字部) (高等部)
の保護者対象に、当法人の運営する作業所施設の見学会を実施しました。これは支援学校で学ぶ生徒の将来の進路先の一つとしてご案内しています。

▼当日約40名の保護者さまに足を運んでいただき、生活介護、自立訓練、就労B型のそれぞれ吹田市内と摂津市内にある作業所施設を見学いただきました。

A photograph showing the exterior of the building entrance. A large green awning covers the entrance area, where a group of people is gathered. The building has a modern design with blue and grey panels and large windows. A sign above the entrance reads "新井 建築設計事務所".

小学部から高等部まで
コミキヤン事業所施設見学会
 ～吹田支援学校保護者対象～



▼見学を終えた皆様からは「とても参考になりました」「質疑応答で話されるスタッフの方の人柄の良さが伝わってきました」など多くの保護者の皆さんに関心を持っていた感謝申し上げます。

▼ミニユニキャンパス

この広報紙は、福祉事業の一環としてメンバー（利用者）が地域の皆様に手配りさせていただいています。どうぞご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

様々な地域活動・地域イベントに積極的に参加！ ～ 西河原・橋の内コミキャンの活動紹介 ～

この夏、茨木市セーフティネット(参加者：地区福祉委員、地域包括支援センター、地区保健福祉センター、社会福祉協議会、障がい者相談支援センター)の皆さんと、西河原地区の高齢者の方を対象にした「熱中症予防キャンペーン」として暑い時期に積極的に水分補給をとっていただく取り組みに参加しました。

まずは、西河原地区の福祉委員の方が、一件ずつ高齢者の方のご自宅に訪問し、西河原小学校の生徒さんの熱中症対策用のコメントをつけた「すくすくシート」を配布されました。そのシートは水分補給を行うごとに、高齢者の方が自ら丸や印をつけ、最後のゴール部分まで達成していただく事で、少しでも水分摂取を意識していただく目的のもの。

後日、委員の方が再訪問し、健康確認を兼ねて、地域の生



▼2025年「熱中症予防キャンペーン」缶バッジのイラスト依頼を受けました

会議の中で絵を選出 ↓

選びたい！」など暖かいお言葉をたくさんいただきました。利用者さんにとっても素敵な思い出となります。本当にありがとうございました！



※ 西河原の利用者さんの絵に関しては、セーフティネット会議の中で厳選された案の中から5人の絵が選ばれました。選んでくださった皆さんからは「みんな、素敵なのでどれかを選びにくい！」「全員を



協会さんから協賛いただいた麦茶と、西河原「ミニディナーパス」の利用者さんが書かれた絵を缶バッジにした物(作成は社協さん)を記念品として

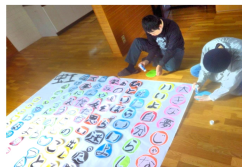


▼11月8日(土)「健康フェスティバル」会場前で製菓物販しました
西河原公園屋内運動場で健康



▼10月18日(土) 西河原小学校の運動会の保護者、地域の競技の部(玉入れ)に参加しました
西河原小学校の保護者さんや、地域の方々と一緒に楽しい時間を過ごせました。実行委員の方々、地域の皆さん。当日は大変、お世話になりました！また来年も是非、参加させていただきますと嬉しいです。

輝いて見えました。(西河原「ミニキャン」藤本)



西河原・橋の内の皆さんで作成した壁絵や個人で描いた絵画を展示させていただきました。地域の皆さんの丁寧な仕上がりが、多くの作品と一緒には、絵や文字は、地域の中にしっかりと受け入れられていたことが、伸びやかさに輝いて見えました。

▼11月16日(日) 西河原公民館主催「文化展」に参加しました



意識を高める様々な運動や体力測定を促進。又、突然の心停止に行う救命の「AED」講習など地域の方と一緒に健康について学べるイベントでした。

このゆびとまれ 成人式



令和8年、今年は8名が新成人となりました。成人のお祝いとして、今年も「成人式」を執り行いました。朝からみんな綺麗な恰好をして来所し、普段とは違つ、カッコいい姿を見せてくれました。各々集まっては、記念に写真を撮影していただきました。式は、施設長岡田、管理者山根からの挨拶、おめでとうの言葉、新成人の代表者が挨拶をして、新成人(片山神社)に成人の奉告をしました。そこでも新成人だけで集合写真←をパシャリ

お昼は、ポコポコ亭特製のお弁当と、ケーキをみんなでいただきました。

▼新成人からは、「お仕事をがんばります」「一人で遠出してみたい」と目標・やってみたいことを発表してもらいました。それぞれの目標・やりたいことに向かって頑張ってください！

▼以下、スタッフから「やればよかったと自信になるので、いろいろやってみてください」「大人学校に入学おめでとう。まだまだ学びは続きます」「目標をもって人生歩んでいってください」「いっぱい失敗してください。それが学びになります」

チームオレンジ交流会 「おもろい亭 学生落語会」 「新オレンジプラン」推進に協力

▼吹田市地域包括支援センターは昨年12月に、地域にお住いの高齢者対象に「おもろい亭 落語会」を開催。その特設会場としてコミキャンの「おもろい亭サロンド・リト(福祉カフェ)」が運用されています。



これは国が進める新オレンジプラン(認知症施策推進総合戦略)の地域自治体での具体的な取り組みの一つで、地域支援チーム(チームオレンジ)などの活動で、当事者やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現にあります。

▼それには症状や進行に応じて適切な医療や介護がタスキミングよく提供されることが重要で早期の対応、重症化予防、生活機能の維持を図ることにあります。



▼この施策推進のこの「落語会」は関西大学落語研究会の協力で、日常の生活を笑いにかえた題材で「涙が出そうに面白い」「自分のことのようにうれしくなった」「もつと若い人たちの話を聞いてみたい」「プロの落語家がおまけやねえ」など参加した地域の皆さんから楽しいメッセージが寄せられています。



▼落語のあとの茶話会では参加の皆さん、演じた学生さん、支援職員が一緒になっ



て落語の感想や内容に、自身の日頃の出来事など重ね自然と笑いが絶えません。



▼この「おもろい亭サロンド・リト」ではこのような「落語会」や「手芸教室」「いきいき百歳体操」などを通して、地域の皆さんの心と体の健康増進、介護予



防に於いて、どなたも集える、どなたも断らない居場所を提供しています。どうぞご理解ご協力のほどお願いいたします。

(就労総合センター・精神保健福祉士 小村)

※【オレンジプランとは】(厚生労働省HPより)「オレンジプラン」は厚生労働省が中心となって作成した認知症対策の国家戦略で、高齢化が進む日本社会における認知症対応を総合的に進めるための政策。正式名称は「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」であり、認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会の実現を目指している。

福祉レストラン ポコポコ亭 活動紹介

▼昨年の12月6日(土)、ポコポコ亭メンバーとスタッフ、ひらかたパークにイルミネーションを観に行ってきた。光の遊園地というイベントで園内



や乗り物がライトアップされていました。ジェットコースターやお化け屋敷など、メンバーさんそれぞれ好みのアトラクションを楽しんでられました。



皆で夜間に出かけることが珍しく、利用者・職員ともに新鮮で楽しい時間を過ごしました。

▼よごがわ市民生協組合員さんの「地域にこんな居場所があったらいいな」という声で生まれた「はつちほつち」。12月16日(火)、そんな地域の居場所「はつちほつち」のクリスマスリース作りワークショップに呼んで頂いた。参加して頂きました。(場所は東淀川区下新庄の鳩ヶ瀬会館)



彩り豊かな端切れなどをドーナツ型の発泡スチロールに押し込んで作り上げます。推しのメンバーカラーなど、それぞれ好きなイメージで作ってられました。

始めは苦戦していましたが丁寧に教えて頂いたおかげで最後まで仕上げる事ができました。

組合員さんからは「いつも美味しいお弁当ありがとうございます」と声をかけてもらい、利用者さんもとても喜んでいました。

(就労総合センター・小村)

▼昨年12月2日に85歳で逝去。ホロパパの愛称で



ホロパパさん追悼

親しまれた法人幹部の母良田隆久(ぼろた・たかひさ)さん追悼「しのぶ会」が12月27日におもろい亭サロンド・リト(福祉力フエ)であり、関係する利用者、職員、家族、地域の皆さんに焼香と献花など、故人の冥福を祈っていただきました。

援業務で来られなかった職員の方、全員の皆さんにお礼を申し上げます。この法人で働いたことと故人も喜んでいてと思います。地域のグループホームの皆さんやホロパパの愛称を知る皆さま、本当「感謝申し上げます。」

合掌



コミキャンメンバー・Nさんからの投稿です

幸せとは…？
自分が思う幸せの定義について書いてみたと思う。私は最近、動物関係のイラストを作業所できよく描いている。今まで作業所や福祉関係の人たちだけが私のイラストを知っていて関係者の人たちが嬉しかったのだが、ここ数年ふとしたことから福祉関係者以外の人たちに私のイラストをLINEで見てもらおうと多くの方々に送信した。そしたら想像以上に反響が高くて、すごく喜んでくれた。私は福祉関係者以外の人たちに、こんなに喜んでもらえることが



今回の体験が自分はそのうであつた。過去から自分は思ってきたことであるが人間関係とは相手同士の心の守り合い、つまり根本的に原則、相手の心を人は傷つけてはいけないのだ。でも世の中は複雑で知らず知らずのうちに相手に傷つけて

ている場合もある。本人が分からないから仕方のない状況もあるが、気付いた時に修正できる場合が数多くある。その場合は修正が無理であつても、後から気付いた時に修正できているのである。相手を傷つけてばかりいると人は破綻をきたして争いごとになりかねない。相手の心を傷つけない、守るのとが人間関係の基本的・原則的なルールである。この幸せに繋がるのではないかと考える。これは家族や友達、恋人というように世の中の人間関係すべてに当てはまることではないだろうか？ やはり基本、人は相手を不快にしているといけない。関係の上、相手に喜ばれることをしたら、お互いに幸せになれるということを今回、私は身を持って体験して学習した。(以上、Nさんの文章を原文のまま掲載しています)

↓ この日の富士山



何度か転ばれていたのに、心配しつつ注意を払ってガイドしていただきました。ただ、シャツと登山靴(モンペル)



「おれ、富士山のぼったで！」
昨年7月、グループホームわがばに住むメンバー鈴木薫さんの旅行にヘルパーとしてわたしも同行しました。目的は、富士山に登ること！
1日目は、ホームで一緒に朝食を食べてから、近くの新大阪駅まで移動。急いで静岡・三島駅と乗り継いで、河口湖のほとりのホテルに着。夕食には、美味しいビュッフェを頂いて、翌日の山行へ備えました。
そして2日目、いざ富士登山へ！ バスで多くの外国人に囲まれながら、小雨のかすむ5合目に到着。



「おれ、富士山のぼったで！」

約1時間で標高差は85メートルの行程でしたが、目標を達成した薫さん、もうすっかり満足な様子でした。おにぎりを食べ記念撮影を終えて、早々の下山となりました。
3日目も、朝からご馳走を頂いてみずみずを散歩して、早めに帰路へ。
途中の静岡で大雨により新幹線が遅れる場面がありましたが、その時に、薫さんは



富士山のぼったで！



何だか真剣に前方をにらみ続けていました。その姿からは、いつものコミキャン生活でも自分なりのペースと方法で日々を楽しんで、彼の強さや逞しさを思い出し、こころも「もう、ええ、かあ。」としつかり仮眠を取らせてもらいました。

今やキャンプの中央に大きく富士山の輝く薫さんは、「俺、富士山登ったで！」と「楽しかったな。次は御嶽山かな。どこ行こか！」とグループホームで朝の6時から言われています。
今回は鈴木さんと私も共に初の富士山への登拝でした。そしてこの旅では、互いの関係性とコミキャンでの経験が合わさって、普段の2倍以上のやる気とエネルギーが生まれました。最後に、この貴重な体験をさせて頂いた鈴木薫さん、わかばの皆さん、コミキャンに感謝を述べさせていただきます。
ありがとうございます！
▼「コミューニティキャンパス」では、この様な利用者メンバーの体験や思い出創りのお手伝いも支援しています。(グループホームわがば・奥元)